

12月議会は12月5日～20日までの16日間を会期として開催されました。

一般会計増額補正予算（総額3億1957万9千円）を含む議案25件、承認案件1件、人事案件、報告案件9件のすべてが原案どおり可決・同意されました。

教員の増員などを求める請願は不採択となりました。

指摘して反対した 主な補正予算・議案

大阪・関西万博の現状が観光振興につながるとは考えられない

観光協会事業補助金660万円は、大阪・関西万博を契機に観光情報などの新たなサイトを構築し宿泊や消費拡大につなげることが目的だとしています。しかし、大阪・関西万博は予定が大幅に遅れるだけでなく、関心も薄い上に安全・安心が保障されていないなどの問題が払しょくされないまま突き進んでいます。この状況が観光振興につながるとは到底考えられません。

市営駐車場の運営は市直営で

中央駐車場をはじめ4つの駐車場は、以前から指摘しているように、先の見通しのないまま建設し、多額の累積赤字を生み財政を圧迫しています。加えて市民が日常的に利用する駐車場の管理運営は委託ではなく直営で運営すべきです。

森林環境税そのものに疑義

2024年から国税として森林環境税を一人1000円徴収することに伴い、地方税回収機構の共同処理する事務に加えるため規約変更しようとするものです。森林環境税はすでに徴収されている県税と目的が同じで二重課税との指摘もあります。和歌山市のように森林がない自治体もあり木材の利用・普及啓発に充てる程度と用途が狭く、年々基金への積立金額が増えていく一方です。災害や地球温暖化の防止のためという目的を達成するためには、国が必要な自治体へ財源措置をするべきであり、回収機構のあり方とともに森林環境税そのもののあり方に疑義があります。



「ごみ処理施設」の 建て替え計画

青岸エネルギーセンターは約40年稼働し、施設としての寿命が迫っていることから、市は新たなごみ処理施設の建設を計画しています。

計画にはごみ処理のあり方についての基本的な考えは示されておらず、いま明らかになっていることは、西防波堤埋立地内（県所有地）への移転、処理方式は「ストーカ焼却方式+メタン発酵方式」とし、建設費用は約610億円などです。

情報量があまりにも少なく、「妥当性を判断するのは困難」との意見が12月議会の厚生委員会で多数を占めました。

市民生活に大きな影響があるにもかかわらず、市民からの意見は1カ月間のパブリックコメントのみとしていることから、市民へ計画内容の十分な周知と意見交流の場を設けるべきと主張しました。



自衛隊が中学校で 防災訓練

和歌山市内の中学校で自衛隊による「防災スクール」が実施され、『海上自衛官募集』と書かれたクリアファイルが全生徒に配られていることが市民からの連絡で分かりました。委員会で取り上げたところ、教育委員会は把握していなかったとのことで、調査すると答えました。本来、自衛官の募集広報活動は保護者または学校の進路指導担当者を通じて行うという通達にも違反する問題です。

国民健康保険料 来年度より見直し

「現行の保険料率のままでは赤字額が増加していくことが見込まれる」という理由で、来年度の保険料率を16年ぶりに値上げする計画が出されました。市民への説明会や、意見募集については「考えていない」としていましたが、市民生活に直結する重要課題だと追及、2月の和歌山県国民健康保険運営協議会に諮るとの回答を得ました。

「教員の増員などを求める意見書を国に提出する請願」 不採択となる

和歌山県教職員組合和歌山市支部が12月6日に和歌山市議会議長宛てに下記内容の請願書を提出しました。

「教職員の長時間過密労働と学校への教員未配置問題が学校教育にも深刻な影響をもたらしています。このような状況のもと、教員を志望する学生の減少や離職してしまう教員が後を絶たず、代替が見つからない学校では、さらなる多忙化を生み出しています。すぐに改善を図らなければならない喫緊の課題として『学校の業務量に見合った教職員配置と長時間労働を抑制するため教員に残業代を支給可能とする給特法の改正を求める意見書を国に提出してください』」

本会議の最終日の採決で日本共産党議員団3人、和歌山興志クラブ3人、民主クラブ2人の計8人の議員が賛成しましたが、反対多数で不採択となりました。

一般質問

日本共産党市議団は、3議員全員が質問しました。



もりしたさちこ
森下佐知子議員

市のごみ処理施設の建て替えは 市民の声を反映すること

森下：住友金属（現日本製鉄）和歌山製鉄所の西防波堤沖埋立地に、2033年稼働するとの基本計画が、今年9月の厚生委員会に示されましたが、あまりにも拙速であり、事業費用、場所、規模など市民生活に大きな影響があるにもかかわらず、地域関係住民への説明会を開催し、広く意見を聞くべきです。

市長：ごみ処理行政は、住民生活に密接に関わる重要な行政サービスであり、ごみ処理施設はサービスの維持に必要なものです。策定している、ごみ処理施設整備基本計画（案）のパブリックコメントを行うとともに、近隣地区の各連合自治会長に概要説明を始めており、今後寄せられる様々なご意見に対して丁寧な説明を行い、事業を進めてまいります。

地域を限定した制度、特別扱いの同和行政を終結せよ

森下：同和行政の不正を公益通報し自死した市職員の家族に、市長は弁護士が同席することを理由に面会を拒否しました。もっと遺族の思いを受けとめるべきです。

市長：面談の際には、ご遺族と幅広く忌憚のない話ができるよう第三者を交えるのではなく、一対一での面談を提案しました。

森下：当該職員の「行政と同和の癒着が改善されておらず」という指摘は、地域を限定した制度、特別扱いの『住宅の減免』『公募しない市営住宅』『子ども会への補助金』などをやめることです。

市長：「部落差別の解消の推進に関する法律」が平成28年12月に施行され、今もなお存在する部落差別を解消するため、引き続き、取り組みを進める必要があると考えます。

粗大ごみは有料化より減量施策を 実施すべき



みなみさちこ
南畑幸代議員

南畑：市は粗大ごみ有料化の検討を始めています。しかし、2009年の和歌山市廃棄物対策審議会で「ごみ有料化の前に減量施策の実施」と答申があります。にもかかわらず、市は

「再利用を目的に粗大ごみを受け入れておらず、資源を選別しリサイクル業者等に搬入、残ったものは焼却」しています。他市では不用品の再利用施策を実施しています。ランドセル譲渡会や衣類などの

再利用に取り組んでいる市民もいます。粗大ごみ有料化でなく、市民と一緒に、幅広く、ごみを発生させない根本的なライフスタイルを推進していき、今以上にごみ減量に取り組んでいくべきです。

局長：他市を参考に、まだ使用できる不用品は、ごみとせず、リユースの推進に有効な施策を取り入れていきたいと考えています。「有料化の前にまず減量を」との審議会の答申は誠実に受け止めており、引き続きごみ減量に努めます。

合併浄化槽の維持管理費の補助を

南畑：汚水処理人口普及率69.2%と生活排水処理が遅れています。高齢者や年金受給者等から「合併浄化槽の費用負担が重く何とかならないのか」の相談が寄せられています。他市では設置時の補助以

外に『合併処理浄化槽維持管理費補助金』を実施しているところもあります。物価高騰で独居高齢者等の暮らしは大変な状況となっています。高齢化や世帯人数の変化により合併浄化槽の維持管理費負担が重くなっています。他市で実施されているような補助制度が必要です。

局長：人口減少かつ高齢化の進展等をも踏まえ、浄化槽の維持管理費に対する補助施策の必要性は認識しています。一方で、補助施策を進めるためには維持管理情報の集約及び共有化が不可欠ですが、関係事業者が100以上存在するなど、様々な地域特性から早期の実現は難しい状況です。

今後も、その実現方法について検証してまいります。

実効性のあるハラスメント対策を

坂口：医療・介護現場で深刻なカスタマーハラスメント（顧客からの迷惑行為等）が報告されています。「殺されるんじゃないかと思う」など現場職員の声は深刻です。事業所まかせでは被害者の救済は図られず、被害を受けた方が医療・介護の仕事から離れることも少なくないとのこと。国の地域医療介護総合確保基金を活用するなど、市として主体的に対策をとる必要があると思います。

局長：相談窓口の設置や防犯機器の導入、複数訪問への人件費の補助など、基金の活用を県に働きかけます。

坂口：カスハラへの法的措置がないなか、他都市のように禁止条例を設ける必要があると思います。

市長：国の動向を注視し、必要な場合は法整備を働きかけます。

生産緑地制度の活用で市街化区域の農業振興を

坂口：生産緑地制度は農地を守る重要な制度です。しかし市は、年齢60歳未満や耕作面積3000㎡以上など独自の指定要件を設置しています。減少しつつある市街化区域の農地をどう守っていくのか現状は楽観視できない状況です。独自要件はやめて、「農業をはじめてみよう」という方の後押しをするような、営農しやすい制度にする必要があります。

市長：市街化区域の農業については、消費地に近いという利点を生かした新鮮な農産物の供給や農業体験の場の提供、災害に備えたオープンスペースの確保など、多様な役割を果たしています。その一方で、優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域であり、耕作放棄地等、課題もあることから慎重に対応します。



さかぐちたみこ
坂口多美子議員

日本共産党市議会だより 2025年1月16日発行

日本共産党和歌山市議会議員団 Tel 073-435-1113
ホームページ X(旧Twitter)

Fax 073-421-4181
Instagram

E-mail jcpwkym@apricot.ocn.ne.jp



日々の活動は、
「日本共産党和歌山市議団」で検索、
又は、左のQRコードからごらんください。